

事業所の連携で挑む

福祉人材がつながる・育つ
・集まる草津の福祉

深刻な人材～集まらない・続かない～

2040年には高齢者1人を現役世代2.1人で支える社会が到来します。
すでに、地域で活躍する“活動者”の担い手不足が叫ばれています。
それだけでなく、滋賀県内では保育士の有効求人倍率が5.37倍に、
介護関係職種3.28倍（ともに令和7年1月時点）に達するなど、現場は
すでに危機的状況です。

なぜ、いま
"事業所連携"が
必要なのか

"15年後、誰が支えるのか"人材不足が生む未来

滋賀県では、15年後に約5,000人の介護職員が必要とされていますが、
現状のままでは、介護職員は減少することが見込まれています。

（滋賀県 レイカディア滋賀より）

このままでは、子育て・介護・地域のつながりといった暮らしの基盤
が揺らぎ始めている深刻なサインです。事業所は人材を奪い合い、必要
な福祉サービスが市民に届かなくなる恐れがあります。

—————「誰が地域を支えるのか」を共に考える時です。

私たちはともに動き出す

事業所との連携で"未来への種をまく"

地域で活躍する“福祉人材”の育成

若い世代が参加するイベントに協働参加！
福祉の魅力を体験型でPRしていく

福祉の魅力に触れる機会を広げ、若い世代を
はじめとする「福祉に関心をもつ人＝福祉人
材」を育てていきます。

多くの人が福祉に親しみをもち、「いつか働
いてみたい」と思えるきっかけづくりだけでな
く、地域での活動は職員が専門性を再確認する
機会となり、職員の意欲向上や質の向上にも役
立ちます。

善意がめぐる地域へ つながる“支え合い”の仕組みづくり

あなたの“今”の声が、現場を変える！
現場の悩みが、支え合いの輪を広げる原動力に

地域の善意と現場の声をつなげ、“活かす”仕組
みづくりを進めています。

事業所の困りごとを共有し合うことで、必要な
物品や解決のヒントが見えやすくなり、善意が動
き出す仕組みが生まれています。

現在は、事業所の寄付物品ニーズを把握し、寄
付者と事業所をつなぐ仕組みも構築中です。

取組窓口 草津市社会福祉協議会 077-562-0084
草津市大路二丁目1-35 キラリエ草津4階

企業の想いが、善意の輪となり 未来を動かす

—草津の福祉、そして地域住民の暮らしを支えている福祉事業所を、
企業の力で応援しませんか—

事業所連携で、地域の善意と福祉現場の声をつなぎ、“活かす”仕組みづくりに踏み出しました。

この取組は、福祉事業所等が必要としている寄付物品のニーズを把握し、企業の皆さまの想いを、必要とする福祉事業所等へ確実に届ける取組です。

企業の寄付は、単なる物品提供ではありません。

地域に善意の輪を広げ、福祉の未来を動かす力になります。

CSRとしての社会的価値はもちろん、『**地域とともに未来をつくる企業**』としての存在感を力強く示すことができます。

ぜひ、寄付物品を草津市社会福祉協議会（市社協）までお持ちください。

皆様の想いを、市社協が責任をもって福祉事業所等へお届けします。

あなたの想いが、草津の未来を変えます。

寄付物品によるご支援を、心よりお願いいたします。

—募集している寄付物品（新品に限る）—

フェイス
タオル

バス
タオル

ティッシュ

歯ブラシ

シャンプー
・リンス

洗濯用洗剤

ボディー
ソープ

ハンド
ソープ

クレヨン
・クーピー

マスク

トイレット
ペーパー

えんぴつ

ともに
草津の未来を
つくろう



※上記以外の寄付物品は受付していません